

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を、大阪はびきの医療センター医学研究倫理委員会の審査を受け、施設長の承認を得て実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究に使用してほしくない等の申出を行うことを理由として、診療で不利益を受けることはありません。

記

研究課題名 (公開用課題名)	高齢股関節骨折患者における受傷後認証遅延の実態に関する後ろ向き観察研究
研究機関代表研究者 所属・氏名	【研究代表者氏名・所属機関】 大阪はびきの医療センター 整形外科・副部長 谷内孝次
研究概要 (意義、目的、方法等)	意義: 高齢化に伴い股関節骨折は増加しているが、受傷後にどのように認識され、医療に繋がるかは十分に検討されていない。本研究は認識遅延の背景因子を明らかにし、支援体制の改善に役立てることを目指している。 目的: 高齢股関節骨折患者における認識遅延の実態と、生活形態や介護度などとの関連を明らかにする。 方法: 2022年6月1日～2026年4月30日までに当院で手術治療を受けた80歳以上の股関節骨折患者を対象とした単施設後ろ向き観察研究を行った。
研究実施期間	機関長の実施許可後から2027年12月31日まで
研究対象者 (研究対象者が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2022年6月1日から2026年4月30日の間に当院で手術治療を受けた80歳以上の股関節骨折患者101例
利用する試料・情報	【利用・提供する試料】 無し 【利用・提供する情報】 患者背景(年齢、性別) 骨折関連因子(骨折型、手術方法)

	<p>生活背景(自宅、施設、屋外、院内)</p> <p>生活形態(独居、家族同居、介護度)</p> <p>認識関連項目(受傷後発見の有無、発見者(家族、介護者等))</p>
<p>利用する試料・情報の取得の方法</p>	<p>診療録より取得する。</p>
<p>利用を開始する予定日</p>	<p>2026年6月</p>
<p>試料・情報の管理責任者</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 整形外科・副部長 谷内孝次</p>
<p>試料・情報を提供する機関</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 院長 山口 誓司</p>
<p>試料・情報を利用する者</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 整形外科</p>
<p>研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法</p>	<p>本研究の研究対象者等が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>情報の保存の際には、個人が特定できないような匿名化連結番号を使用し、ネットワークから切り離されたパソコンおよび電子媒体に保管します。研究終了後は、5年間情報を保管し、保管期間終了後は復元不可能な方法で適切に情報を廃棄します。</p> <p>なお、将来研究結果を学会・論文等で公開することがありますが、その場合も個人が特定できない方法で行います。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き 研究参加拒否の連絡先</p>	<p>下記問い合わせ先へお問い合わせください。</p> <p>なお、試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外致します。参加拒否申出を理由として診療で不利益を受けることはありません。ただし、研究実施上、既に個人が特定できない状態で研究結果を公開している場合など、除外できない場合があります。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの三丁目7番1号 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 診療科: 整形外科 担 当: 副部長 谷内孝次 TEL : 072-957-2121(代表)</p>